

産業祭会場で市民100人に聞きました

大館の特産品の
ベスト3は

曲げわっぱ、ネギ、きりたんぽ

みんなの知恵で、おこそう伸ばそう郷土品をテーマに今月二日から六日まで、「第五回大館市産業祭」が開かれました。産業祭は大館市と商工会議所、農協が主催しているもので、今年は商工会が市民体育館、農産物展が城西体育館に割り当てられたほか、桂城公園、卸売市場、農業会館などで行われ、期間中の入出はおよそ三万六千人でした。広報係ではこの期間、市民体育館と城西体育館を訪れた人、百人を対象に「産業祭」に関わるアンケートを実施し、その結果をまとめましたので、どうぞご覧ください。

(回答者は二十代から七十代までの男性52名、女性48名。なお質問により複数回答もあります)



「産業祭の会場をもっと工夫し、出品数を増してほしい」

「問1」あなたは、これまで産業祭を見たことがありますか

- ①はい 78人
- ②いいえ 22人

「問2」産業祭の会場で、買ったと思った品物がありましたか

（ベスト5）

- ①ヤマノイモ、ネギなどの野菜類
- ②リンゴ、ナシなどの果物類
- ③曲げ物、曲げわっぱ
- ④お菓子類
- ⑤銀細工製品

以下、秋田杉を使った桶樽や木工品、郷土の酒、米、リフォームされた衣類などをあげています。しかし一方で約四割の人が「特に買いたいと思うものはなかった」と答えています。

「問3」印象に残ったコーナーは

- ①生活工夫展（城西体育館）
 - ②農産、果樹品評展（〃）
 - ③木工、木材製品展（市民体育館）
 - ④園児、小学生の図画書道展（城西体育館）
 - ⑤手作り食品即売コーナー（〃）
 - ⑥鉱山展（市民体育館）
- 以下、「曲げわっぱ」「銀細工」「ニューメディア」コーナーなどとなっています。しかし、こども「特になし」と答えた人が全体の三分の一もあり、これらの人を中心にこれからの産業祭の見直し意見などが多く出されました。

「問4」産業祭で工夫の必要があると思ったことは

- ①展示会場の作り方、陳列の仕方 13人
- ②展示物を廉価で即売 9人
- ③展示物をもっと増やすこと 7人
- ④多くの人に見てもらえるように前宣伝をもっとうまく 5人

以下、「伝統工芸品のデザインに新しい工夫を」「全般に値段が高いので、地元品をもっと安く」「老人クラブ展、文化祭、スポーツ祭などを加え、総合的な催しに」「農産物品評展の審査基準の公開を」「製作実演コーナーを設けて」「各会場間に無料バスの運行を」「子供の遊べるコーナー」などの意見も出されました。



▲手作り食品コーナーではメモをとる姿も

「問5」産業祭を今後も継続した方がよいと思いますか

- ①はい 96人
- ②いいえ 2人
- ③見直しの時期だ 2人

市長の対話ノート



No.101

ネアカとネクラ

何のことだろうと思ったのは私一人だけでしょうか。知ってしまえば何のことはない「根っから明るい」「根っから暗い」という流行語です。ところどころで性格として生まれながらにして「明るい」「暗い」が定まっているものではないか。説はいろいろありましようが、私は「ネクラ」はあり得ないと考えたい。なぜならば、少なくとも私の知る限りでは、育つ家庭環境と関係が深いと見るべきことが余りにも多いからです。

とするならば、育つ子供のためには明るい家族関係の環境こそ、何ものにも優先されるべきことであり、教育環境は、その上に存在するものでなければなりません。

また「ネクラ」は固定的な性格ではないはずですから、少なくとも成人するまでの間は個人や周りの努力や働きかけで是正することができるものだと信じています。

暗がなければ明るい。だから「ネクラ」も仕方がないと思うかも知れませんが、人間社会でそんな差別や関係があつてはなりません。社会として「ネクラ」などと言われる人間を育ててはならないことです。

レーガン大統領は「ネアカ」の勝利だと言われるにつけ、つくづく考えさせられる近況です。

伊山 健治